

スポーツ栄養演習Ⅰ

科目ナンバリング SPS-113

選択 2単位

藤井 瑞恵・大村 香織

1. 授業の概要(ねらい)

基本的な各栄養素の役割を正しく理解し、競技特性やトレーニングに応じて、何を、いつ、どれくらい摂取する必要があるかを学びます。

授業の進め方は、資料やパワーポイントを中心とした講義形式で授業を行った後に、グループワークやディスカッション等を実施します。自身のコンディションや食生活を振り返り、実践へとつなげ、スポーツ栄養の重要性を理解していくことを目指します。

2. 授業の到達目標

- ①基本的な各栄養素の役割を説明できる。
- ②トレーニングや競技に応じた適切な栄養摂取について説明できる。
- ③授業で習得した知識を、日々の食生活やスポーツ現場で実践できる。

3. 成績評価の方法および基準

- ①授業内テスト・課題 30%
 - ②期末試験 70%
- ※出席点はありませんが、出席不足は評価対象外となります。
※テストや課題のフィードバックは授業内での解説、又はLMS等へ解説を掲載します。

4. 教科書・参考文献

参考文献

小林修平編著 アスリートの栄養・食事ガイド(3版) 第一出版
樋口満編著 新版コンディショニングのスポーツ栄養学 市村出版
公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト第9巻『スポーツと栄養』

5. 準備学修の内容

日頃から自分自身の身体作りや食事・栄養について興味・関心を持って過ごすよう心掛けて下さい。参考資料や配布資料をよく読み、課題やレポート、授業内発表の準備を十分にしてください。

6. その他履修上の注意事項

グループワーク、ディスカッション等主体的に取り組んでください。私語など授業の妨げとなるような行為、スマートフォン、イヤフォンの着用は禁止します。場合によっては退出してもらいます。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション(授業の進め方、評価方法など)
- 【第2回】 アスリートの食事の基本
各栄養素の働き、バランスの良い食事について学ぶ。
- 【第3回】 トレーニングとエネルギー消費量
1日のエネルギー消費量の推定方法について。自身の練習やトレーニング消費量を推定する。
- 【第4回】 アスリートの身体組成①
身体組成を測定する意義について学ぶ。
- 【第5回】 アスリートの身体組成②
身体づくりの目標の立て方を学ぶ。
- 【第6回】 糖質摂取の必要性
糖質の体内における代謝と機能、アスリートにおける必要量を学ぶ。
- 【第7回】 たんぱく質の必要性
たんぱく質の体内における代謝と機能、選手における必要量を理解する。
- 【第8回】 脂質の必要性
脂質の種類と働き、適正量について学ぶ。
- 【第9回】 運動後のリカバリー
運動後の身体の状態について知り、効率的なりカバリー方法を理解する。
- 【第10回】 水分補給法
水分補給による体温調節、脱水とパフォーマンスとの関連などを学び、正しい水分補給法を知る。
- 【第11回】 食事調査法
食事調査の意義、調査方法と注意点について学ぶ。
- 【第12回】 アスリートの食事計画①
食事記録法により食事調査を実施し、栄養計算をする。
- 【第13回】 アスリートの栄養計画②
食事調査と栄養計算から、対象アスリートの課題とアドバイスを考える。
- 【第14回】 まとめ
スポーツ栄養演習Ⅰのまとめと理解度の確認
- 【第15回】 まとめと期末試験